

令和4年度 病害虫防除情報

令和5年3月28日
発表：福島県病害虫防除所

モモの生育が、平年より10日程度早まっています。
また、モモせん孔細菌病、モモハモグリガの発生が確認されています。
生育に応じた適期の薬剤防除を行いましょう

- 1 対象作物：モモ
- 2 病害虫：モモせん孔細菌病、モモハモグリガ
- 3 対象地域：全域

発生状況等

- (1) 福島県農業総合センター果樹研究所におけるモモの生育状況は、「あかつき」の発芽が3月16日で平年より8日早い状況です。
仙台管区气象台が3月23日に発表した1か月予報によると、向こう1か月の平均気温は高い確率が80%となっています。
今後の気温が平年より2℃高く経過した場合、「あかつき」の開花は、平年より8日早い4月5日頃と予測されています（令和5年3月22日現在）。
- (2) モモせん孔細菌病春型枝病斑の発生は、県北地方の「ゆうぞら」で、3月22日に確認しました。
- (3) 福島県農業総合センター果樹研究所におけるモモハモグリガのフェロモントラップでは、3月22日から越冬世代の誘殺が確認されています。昨年秋期の発生状況（図1）と越冬調査から、発生が多くなることが懸念されます。

防除対策

- (1) モモせん孔細菌病の防除対策
各地域の防除暦に従い、開花前に無機銅剤を確実に散布してください。
春型枝病斑（図2）は、新梢葉や果実への伝染源となるため、ほ場内をよく観察し、疑わしい枝も含め徹底してせん除してください。なお、せん除する場合は、発病部位が残らないように病斑部の周辺を含めて可能な限り基部まで切り戻してください（図3）。
せん除した枝病斑は、園外に持ち出すなど適切に処分してください。
- (2) モモハモグリガの防除対策
福島県農業総合センター果樹研究所の予測によると、今後の気温が平年より2℃高く経過した場合、第1世代の防除適期は4月16日頃と予測されています（表1）。各地域の防除暦に従い、薬剤を散布してください。
なお、薬剤を散布する際は、訪花昆虫への影響に留意し、事故防止に努めてください。

表1 果樹研究所におけるモモハモグリガの防除時期の推定
（令和5年3月25日現在）

今後の気温予測	越冬世代 誘殺盛期	第1世代 防除適期
2℃高い	4月 8日	4月16日
平年並	4月10日	4月19日
2℃低い	4月16日	4月26日

起算日：3月1日（演算方法は三角法）



図1 モモハモグリガ被害葉
（写真提供：福島県農業総合センター果樹研究所）



図2 モモせん孔細菌病春型枝病斑の発生状況（令和5年3月24日撮影）

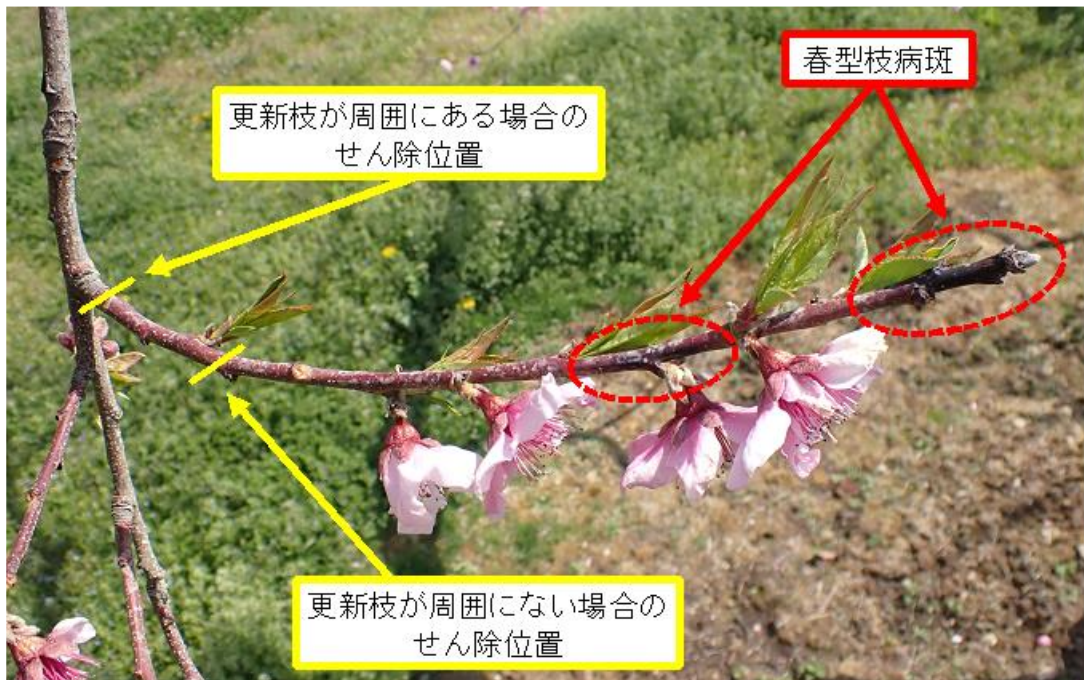


図3 春型枝病斑のせん除位置（写真提供：農業総合センター果樹研究所）

●情報内容への質問は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病害虫防除所）まで御連絡ください。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727